

令和 6 年度 第 1 回知立市保健対策推進会議

- 1 開催日時 令和 6 年 5 月 21 日（火）午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 3 0 分
- 2 開催場所 知立市保健センター 2 階 講座室
- 3 出席者 14 名
宮谷真正委員、花井光造委員、佐橋勇治委員、戸崎伸治委員、岡田正敏委員、永田やよい委員、長谷川依句弥委員、信田顕史委員、高木古都美委員、田中寛孝委員、倉田美恵子委員、西脇洋二委員、島津くるみ委員、山下徹也委員
- 4 欠席者 5 名
門間晶子委員、新美徳洋委員、山本由美子委員、津端奈緒美委員、菊地有希委員
- 5 事務局等 9 名
保険健康部長、健康増進課長、健康増進課長補佐兼成人保健係長、健康増進課長補佐兼母子保健係長、成人保健係主査（2 名）、成人保健係保健師（1 名）、母子保健係主査（1 名）
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 事
 - （1）保険健康部長あいさつ
資料確認・自己紹介
 - （2）会長の互選
会長：佐橋委員より医師会代表宮谷委員を推薦され、宮谷委員は 6 月医師会支部長の改選があるが、新支部長へ審議会会長も引き継ぐことも含め全員承認
副会長：会長より、歯科医師会代表花井委員が指名された
 - （3）協議事項
 - ① 第 3 次健康知立ともだち 2 1 計画」・「第 3 次知立市食育推進計画」・「第 2 次知立市こころ応援計画」骨子案について
事務局より資料説明
意見なし
事務局より、事前質問に対する回答を説明
質問：骨子案 1 5 ページについてです。
「③休養 こころの健康でストレスを感じる人の割合の指標の評価が D 判定となっており、残念に思います。これは全国や他の都市と比較していかがなものでしょうか。この指標は今でも有効なものでしょうか。健康日本 2 1 の指標を見ると、気分障害、不安障害に相

当する心理的苦痛を感じている者の割合という表現がありました。これまでも発言したことでもあります。ストレスは社会生活上つきもので、決してそれ自体が悪いというのではなく、ストレスの度合いがかなり深刻であり、緩和する手段を持っていないことが問題なのかと思います。そろそろ別の指標で検討していくほうがいいのではないかと感じます。一方、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる人の割合は指標としてとても分かりやすく、評価も良いことがすばらしいと思いました。」

回答：「ストレスを感じている人の割合の指標は、愛知県が第2次計画時に取り上げた指標です。愛知県の第2次計画では、ストレスを感じた人の減少という項目に対し、「ストレスを感じた人の割合（全体）」「ストレスを感じた人の割合（勤め人）」「過度のストレスを感じた人の割合（全体）」という3つの評価指標をあげており、3つとも悪化であるD判定でした。他市で調べると、多くの市で指標として取り扱っていません。睡眠で休養がとれていない者の割合という指標をあげているところが多くありました。唯一見つかったのが、西宮市でストレスを感じている人の減少が男性、女性、全体で全て悪化という結果がありました。またストレスを指標とあげているところでも、ストレスを発散する手段がある者の増加など、ストレスそのものを着目するのではなく、そのストレスをいかに発散し上手に生きていくかということに着目していました。確かにストレスは社会生活につきものです。そこを踏まえ3次計画では考えていきたいと思っています。」

② その他

次回の開催：8月6日（火）を予定